

地縁の助け合い活動を活性化するには？

提言

少子高齢・人口減少社会で、地域のそして住民生活の持続可能性を高めるためには、制度だけではなく、地域住民や関係者の主体的な参加による助け合い・支え合い活動の仕組みづくりが不可欠。支援者は一人で抱え込まず、地域に課題を投げかけ、地域の人たちとともに課題解決することが、活動活性化の第一歩。

登壇者

【進行役】	高橋 良太氏	(社福) 全国社会福祉協議会地域福祉部長
	河村 侑乃氏	九戸村保健福祉課
	毎田 雄一氏	下ノ江ささえあい隊 活動企画コーディネーター/会計
	大嶋 照伸氏	ふじくらたすけあいの会代表
	吉野 義道氏	砂町よっちゃん家代表

■ 寄せられた声から

- 地域の色々な困り事を自分の課題として捉えて、献身的に広い視野に立って取組みをされていることに感銘を受けた。個人の熱だけでなくチームの熱として物事に取り組めるようにしたいと思った。
- 民生委員さんの熱い思いに感動しました。地域包括支援センターとの連携がしっかり取れているのが1つのポイントだと思いました。
- 4名の事例発表の方の話のエッセンスを整理し、とてもわかりやすくお伝えいただいた進行役の高橋さんに感謝。進行役次第で大きく変わることを実感。

議事要旨 高橋 良太氏

この分科会では、地域でさまざまな活動を展開している4名の登壇者からの報告をもとに、地縁の活動を活性化するための方策について話し合いました。

ふじくらたすけあいの会の代表として、様々な活動を切り盛りする大嶋照伸さん。大嶋さんは民生委員を2期務めた後、自治会による地域高齢者の福祉活動を事務局として支えてきました。「ゆるやかな見守り活動」の実施をきっかけに、身の回りのことはできても、通院などの外出、庭の手入れなど、ちょっとしたことができなくなる人が多いことがわかってきました。こうしたニーズに応えるため協議を重ね、2018年4月に「ふじくらたすけあいの会」を設立。集まることが制限される中、「集まれないなら、訪ねて行こう」「小さく集まろう」と、コロナ禍でも大嶋さんは仲間たちとともに福祉活動を継続しています。

砂町よっちゃん家代表の吉野義道さん。民生委員退任後、空き家になっていた両親の家を開放し、2016年9月、砂町よっちゃん家をオープンしました。週2回のサロンから始まった活動は、その後、絵手紙教室、寄席、麻雀などたくさんのイベントに広がっていきます。また、地域の人たちが集まるこうしたイベントに参加した人たちの会話から、地域に埋もれているさまざまな課題が発見されました。これらの課題を解決するために、吉野さんは、現役・OBの民生委員などスタッフ、さらには地域の協力を得て、砂町よっちゃん家をベースに子ども食堂や不登校の子ども学習支援、ご近所ミニデイなどの活動を次々展開。砂町よっちゃん家は、まさに「地域の課題を発見し解決していく場」になっています。

下ノ江ささえあい隊で活動企画コーディネーターを務める毎田雄一さん。2019年に民生委員に就任後間もな

く、長年の懸案であったゴミ屋敷問題の解決に乗り出しました。その際、民生委員一人で抱え込むのではなく、町内の地域福祉委員会を巻き込んで、その問題に町内全体で取り組むよう仕向けていきました。数カ月にわたり本人と信頼関係を築き上げた結果、地域の人たちと一緒にゴミを片付けることに成功しました。その後もさまざまな課題に地域の人たちと向き合い、解決に向けた活動をする中で、ボランティアグループ「下ノ江ささえあい隊」を結成。「民生委員は地域活動のコーディネーター」と自負する毎田さんは、今、3軒目のゴミ屋敷の片付けに着手しています。

九戸村役場の保健師として、生活支援体制整備事業を担当する河村侑乃さん。2017年に助け合いの仕組みづくりに乗り出しましたが、「行政に言えばやってくれる」と村の人たちの厚い壁に2度跳ね返されました。3度目の正直を目指し、2019年に協議体を発足。住民投票で協議体の名称を「ご近所すけっ隊」に変更したり、全戸配布のニーズ調査をしたり。村内7カ所で開催した勉強会には130人が集まりました。その勉強会から生まれたのが「ほずのいえ」。有償の生活支援活動の事務局と多世代が集まる通いの場の機能をあわせもつ助け合いの拠点です。協議体メンバーや住民に、次から次に考えるきっかけを与え、動機づけながら住民参加を促してきた河村さん。コーディネーターの手腕が光ります。

4つの報告からは、地縁の助け合い活動の活性化には、キーパーソンとしての民生委員さんの役割の重要性がまず語られました。また、居場所の機能にとどまらない拠点の役割、さらに、広く住民参加を促す仕掛けやきっかけづくり、それを担うコーディネーターの大切さが明らかになりました。

アンケートの結果 参加者概数：175名 回答者数：60名

